

『春を待つ心 - 浮世絵とうつわから - 』



ドーム
「スマイレ文金彩蓋物」

1900-1914年

ただ今美術館では、春をテーマに浮世絵をはじめ、茶わん、油彩画など、さまざまな館蔵品をご紹介します。

写真は、ドームの「もんきんさいふたものスマイレ文金彩蓋物」。愛らしいスマレがモチーフです。ジャン・ドーム（1825-85）がフランスの地方都市ナンシーに創立したドーム社は、息子であるオーギュスト・ドーム（1853-1909）とアンナン・ドーム（1864-1930）兄弟によって、アール・ヌーヴォー（新しい芸術）を代表するガラス工房となりました。本作品は1900年から、工房を閉鎖する1914年の間に制作されたと考えられています。白と紫のガラスが溶け込んだ半透明の素地に、エナメル彩で写實的に描かれたスマレ文ガラス器のシリーズは、好評を得て多数制作されました。空間に散らされたスマレの花や、金彩で表現された葉脈など、当時ヨーロッパ各地で大流行した日本美術の影響が随所に見られます。私たちがドームのガラスに親しみを覚えるのも、どこかに懐かしさを感じるからかもしれません。

2月20日(日)まで開催中

毎週月曜日(祝日の場合は翌日)休館

編集後記

何でも今年の花粉はすごい。報道によると、昨年の15倍の飛散量だとか。こんな話を聞くだけでもう、鼻がむずむずしてくるような気がします。中にはこれからの季節、しばらく外出するのもおつくうになってしまいう人もいるのではないだろうか。

こんなときにお勧めしたいのが、市税や水道料金の口座振替。わざわざ市役所などへ出向かなくてもきちんとなおめることができ、花粉が飛び散る季節でも大変便利になっています。と何年か前のどこかの広報紙に書いてありました。花粉症は飛散量が多い年に初めてなる人が多いとか。今年デビューすることのないように気を付け、取材におじゃましたいと思います。

次号は2月15日号

発行日は2月15日(火)です

広報えな No.6

2005年(平成17年)2月1日発行

発行 恵那市役所 / 編集 秘書広報課
岐阜県恵那市長島町正家1丁目1番地1

☎26-2111 / ☎25-6150

<http://www.city.ena.gifu.jp/>

✉info@city.ena.gifu.jp

『広報えな』2月1日号、1部当たりの印刷経費は約14.0円(税込み)です。

2100

『広報えな』は古紙100%の再生紙を使用しています。

PRINTED WITH
SOY INK

この印刷物は石油系インキではなく、地球に優しい大豆油を使用したインキで印刷されています。